



増刊号

令和2年9月

活動組織紹介 -シリーズ①-

多面的機能支払交付金が平成26年度にスタートして7年目を迎えました。現在、県内では**639組織**で地域資源、農村環境の保全活動に、日々、取組まれています。

●県内の活動組織の状況

昨年度は初年度(H26)から多面的機能支払交付金に取り組み始めた組織の更新年度にあたり、243組織が再認定を受け、新規9組織の立ち上げがありました。本年度は、新型コロナウイルスの影響で申請期限を延長されている市町がありますが、**再認定186組織、新規15組織**が申請予定となっています。

また、今年度は湯梨浜町で10の既存組織が1つとなって、広域活動組織である「湯梨浜町みどりの保全会」として立ち上がるなど活動組織の広域化も進んでいます。

○県内の活動組織数（令和2年8月現在・申請予定含む）

	農地維持のみ	農+共	農+共+長	農+長	長寿命化のみ(※)	計
合計	133	120	285	83	18	639

（農・農地維持、共・共同活動、長・長寿命化）

※中山間地域等直接支払交付金と多面的機能支払交付金（長寿命化のみ）の組み合わせ

●各地域で頑張っている活動組織の取組みを紹介します。今回は、次の4組織です。

- ・高路集落環境保全活動組織（鳥取市）
- ・湯梨浜町みどりの保全会（湯梨浜町）
- ・清水川農地・水・環境保全向上対策協議会（南部町）
- ・石井地区水田環境保全協議会（米子市）

こうろ 高路集落環境保全活動組織（鳥取市）

～ 長寿命、全て直営施工で頑張っています！！ ～

○地区の概要

本組織は、鳥取市の南部、有富川の上流に位置する中山間地域。1集落、35戸で組織。水田 12.6ha、水路 4.6km、農道 5.5kmの保全活動を行っています。

【農地維持、資源向上（共同・長寿）、活動開始 H19】

○主な取り組み

・長寿命化の直営施工

本組織は、山間の水田を利用して水稻を主に栽培していますが、山からの用水路への土砂の流入が多く、素掘り水路の区間が残っていたため、毎年泥上げ作業に苦労していました。このため、多面的機能支払の当初から、コンクリート製品による水路の更新や蓋掛けなどの長寿命化に取り組んでいます。重機作業の経験者がいたので、費用低減の観点から外注はせず全て直営施工としました。これにより維持管理の省力化が図られたことはもとより、農業施設の維持は集落全体の問題であるとの意識付けにも繋がりました。

（裏面へ続く）



農地維持・水路の泥上げ作業

・集落総出で景観形成

当集落はホタルが舞い、ヒメハルゼミが賑やかに鳴く自然豊かな地域です。生息場所の保全活動に子供会から老人会まで集落総出で取り組んでいます。毎年、地区の小学生を招いての有富川源流体験や川遊び体験、保育園児との交流会、ホタル観賞会を開催しています。

○活動組織の声（代表 山口照雄氏）

きれいな空気と清流のおかげで、今年も多くのホタルが見られました。これからも地域の宝を守り、後世に引き継いでいく、地域資源の保全、景観形成や生態系保全の活動に力を入れて行きます。



長寿命化・コンクリート水路へ更新



有富川源流体験

湯梨浜町みどりの保全会（湯梨浜町）

～ 令和２年度 広域活動組織が始動します！！ ～

○地区の概要

本組織は、温暖な気候を利用して特産二十世紀梨をはじめ、ハウス栽培や水稲が盛んな地域。本年 6 月 9 日、旧活動組織 10 組織（8 集落）が協定を締結し広域活動組織を設立。田 102ha、畑 38ha、水路 40.7km、農道 37.2km、ため池 5 箇所を保全管理を行っています。

【農地維持、資源向上（共同・長寿）、R2～】



○広域組織設立の経緯

各組織の事務負担の軽減等を図るため、以前から広域化に向けた検討を行ってきました。広域組織への加入の賛否や事務局をどこが受け持つかなど多くの課題がありましたが、各組織と協議を進め、また、事務局については、東郷土地改良区と調整を重ね、引き受けていただくことを了承いただき、本年 6 月 9 日、加入に賛同した 10 組織で「湯梨浜町みどりの保全会」を立ち上げることが出来ました。（参考：事務局の役割・全体の調整、水路等の長寿命化対策への技術指導、会計役員を担当）

○広域化の利点

作成書類等の減少、役員の削減、さらに資源向上支払に取り組んでいなかった組織分の交付金の増加により適切な保全活動が見込めます。

○広域組織の今後の展望

役員の高齢化等により事務の受け手がおらず、活動の継続が困難な組織や、すでに活動を終了してしまった組織等に対し、広域組織への参加を呼びかけ、組織の拡大を図ってまいります。

○広域組織に加入して（会員の声）

立ち上がったばかりで実感はあまりないが、5 年後 10 年後を見据えて今から広域化しておいてよかったと思います。今後、各組織が負担軽減を実感できるような体制づくりを期待しています。



設立委員会

○事務局の声（東郷土地改良区）

農業施設の老朽化が進む中で、広域化により施設の更新を推進し、広域化して良かったと言われるよう努力してまいります。

しみずがわ

清水川農地・水・環境保全向上対策協議会(南部町)

～ 古代米栽培で地域コミュニティ

・女性の参画と活躍！！～

○地区の概要

本組織は、南部町北部に位置する平野部の田園地帯。

1 集落（農家 13 戸、非農家 21 戸）で組織。水田 7.6ha、

水路 1.8 km、農道 1.8km の保全活動を行っています。

【農地維持、資源向上（共同・長寿）、活動開始 H20】

○主な取り組み

本組織は、高齢化が進行し農業従事者が減少傾向にあるなか、地区内の農地維持活動を集落全体で行い、地域の美しい農村環境を守ることを目的に、農事生産組合が中心となり平成 20 年度に組織を立ち上げ活動を開始した。平成 30 年 1 月には「合同会社清水川」を設立、農地の集積を図る一方で、古代米の作付けや収穫祭などの地域の活動に鳥取大学の学生など地域外の方にも参加してもらい、地域の繋がりをより活発にする活動に取り組んでいます。また、本協議会の代表者を含め女性が中心となって活動を推進、地域において積極的に女性が活躍しています。

・「合同会社 清水川」への農地集積

地区内の農業者を対象にアンケート調査を実施し「将来的な営農に関する意向」を確認した結果、営農が困難な農地について、地域の中心経営体である「合同会社清水川」に集積していくこととなりました。現在、地区内の農地の過半数が集積され遊休農地抑制の成果を上げています。

・長寿命化の取組み

毎年 4 月に農地や農業用施設の調査・点検を行い、必要に応じて地域全体で補修を行っています。また、平成 12 年の鳥取県西部地震によって生じた水路の凹凸を長寿命化の取組で布設替えしています。

・古代米栽培と地域コミュニティ強化

清水井（地域に湧き出る泉）には、大国主命が蘇生復活した神話があり、この泉の水が注ぐ水田で古代米を栽培しています。田植えと稲刈りを参加型イベントとして実施し消費者との交流の場となっています。地域の住民をはじめ、鳥大生、荒神神楽研究会、なんぶ太鼓など多くの団体に参加いただいています。

また、毎年 8 月には、子供会事業として水棲生物の生息状況の調査を実施、子どもたちが生物に触れ新たな知識を習得するとともに、ふるさとの農地・景観が保全されていることの大切さに気付く機会にもなっています。

○活動組織の声（代表 庄倉三保子氏）

過疎化、高齢化が進み保全管理活動への参加者が減少し、共同活動を前提としていた施設の維持管理、草刈・水路の泥上げなどの地域資源の保全活動が困難になりつつあります。少人数で効率的に保全活動ができるよう活動の効率化・省力化を図るとともに、地域維持のために、地域内外の非農家とのつながりをより深める活動をしていきたいと考えています。



水路の泥上げ作業



古代米の田植



子供たちによる生物調査

清水川農地・水・環境保全向上対策協議会は、令和元年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰優秀賞を受賞されました。

おめでとうございます 🙌🙌

いしい 石井地区水田環境保全協議会(米子市)

～ 石井の農地は石井で守ろう!! ～

○地区の概要

本組織は、米子市の南西部に位置する平地農業地域。
1 集落・43 戸で組織。水田12.7ha、水路5.0km、
農道1.6km、ため池3ヶ所の保全活動を行っています。
【農地維持、資源向上(共同)、活動開始H19】



○主な取り組み

本組織では、「石井の農地は石井で守ろう」を合言葉に全員参加で農地維持活動に取り組んでいます。高齢化や後継者不足により、年々、農地の維持が難しい状況にありました。そのような状況のなか、H25年に地元有志により石井生産組合を設立、県農業農村担い手育成機構から地元の水田15ha(うち5haは作業委託)を借り受けて耕作しています。地域の作物は水稻がほとんどあり、水路並びにため池の維持保全に力を入れています。

・ 中海の水質浄化対策「浅水代掻き」の推奨

当地区は加茂川の上流に位置しているため、中海の水質浄化に向けた流出水対策推進地域にあたることから、農業地域対策の取り組みのひとつである「浅水代掻き」を推奨、代掻き時期にはのぼりを立てて啓発し、現在、区域内の約8割で実施しています。

※浅水代掻き

入水量を減らして代かきをすることで、肥料成分等を含んだ汚濁水の河川、池等への流出を防ぐ技術です。

・ 伝統農法の継承

景観形成の取り組みとして、H19年の農地・水の時代から地元の成美小学校と連携し、農業体験授業の中で子供たち(4年～6年生)に昔ながらの“手植え”や“ハザ掛け”等の伝統農法を体験してもらっています。ちなみに、収穫したもち米は、毎年11月に小学校が日頃お世話になっている地域の方々を招いての「もちつき感謝祭」で振る舞われます。



○活動組織の声(代表 齋木兵治氏)

今後の課題は、担い手の育成、なかなか難しいと思うが農業の増収増益を望みたい。引き続き伝統農法の継承や中海の水質浄化対策に地域のみんと一緒に取り組んでいきます。



農業体験授業
田植え・ハザ掛けの様子

活動紹介組織を募集します(お願い)

～「うちも頑張っとるで」という活動組織を募集します～

会報「Farmland(ファームラント)」では、順次、活動組織の取り組みを紹介していきます。

農地維持活動で草刈りをしてきれいな農村風景になった、長寿命化の施工を直営で行ったなどの基礎的な活動から、多面的機能の増進を図る活動でこんな効果があった、また、苦勞したことなど何でも結構です。うちの活動を掲載するという組織がありましたら、下記までどしどしご連絡ください。(支援員が取材に伺います。)お待ちしております。

	応募・問合せ先	電話番号
東部	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	0857-38-9500
中部	水土里ネットとっとり倉吉事務所	0858-47-0055
西部	水土里ネットとっとり米子事務所	0859-32-9710



高めよう
地域協働の力!